

JICA国際緊急援助隊 IEC「Heavy級」に認定

01

3月9〜12日、東京都、千葉県成田市、兵庫県三木市で、JICA国際緊急援助隊（JDR）のIEC（国際捜索救助諮問グループ外部評価分類）受検が行われました。IECは各国の救助チームの実力を測るために設けられた国際的評価基準。「重（Heavy）」「中（Medium）」「軽（Light）」の3段階に分類され、JDRは最高レベルのHeavy級に見事合格しました。

今回の受検には、警察庁、総務省消防庁、海上保安庁のレスキュー隊員のほか、災害救助犬4頭、医師・看護師、業務調整員など、計71人が参加。「トリニア国ザクアス市」という架空の都市でマグニチュード7.8の地震が発生したという設定で38時間の派遣シミュレーションが行われ、世界各国から来日した11人の評価員により「マネジメント」「捜索」「救助」「医療」「ロジスティックス」の5分野で、約130項目が審査されました。

Heavy級に合格したのは、日本が世界で13番目。海外の被災地でより効果的・効率的な支援ができるよう、今後もさらに技術向上に努めていく方針です。



国内の救助活動で正式導入されていない「ショアリング」（建物の倒壊を防ぐ技術）も試験項目の一つだった

JICA四国「国際協力実践セミナー」開催

02

「アフリカで井戸掘りをしたけれど、どう計画を作ったらいの？」「インドネシアで衛生改善の協力をしたけれど、気を付けるべき点は？」

こうした学生団体からの質問がきっかけとなり、2月19〜20日、JICA四国で「大学生・国際協力実践セミナー」が開催されました。当日は四国4県から30人近くの大学生が集まり、国際協力の実務者からその実践方法を学びました。

学生時代にNGOを立ち上げた、NPO法人ACEの岩附由香代表は「学生の国際協力で、どうモチベーションを保っていくか」について講演。続いて、長崎大学の渡邊学教授が「現地の人々が問題を自分たちで解



ワークショップで作成したプロジェクトを発表する参加者たち

決できるようにするのがいい協力」と訴え、「自立発展性」や「オーナーシップ」の重要性について話しました。さらに、JICA若手職員によるプロジェクト立案のためのワークショップ、学生たちのパネルトークなどを通じて、さまざまな形で国際協力に取り組む学生同士が意見を交換し合う場もありました。

「客観的に自分たちの活動を見直すことが大切」「他の団体の活動に刺激を受けた」「自分たちが何をしたいのか見えてきた」。このような感想を述べた参加者たちが、これからどんな活動を始めるか、とても楽しみです。

あなたもできる国際協力 参加募集！

03

青年海外協力隊
シニア海外ボランティア 募集中

JICAは、青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの2010年度春募集を行っています。応募資格、募集分野、応募方法、全国各地で約150回開催される「体験談&説明会」（参加無料・申込不要）などの詳細は、ホームページ（www.jica.go.jp/volunteer）をご覧ください。

募集期間：5月17日（月）まで

問：JICAボランティア募集選考窓口

TEL：03-3406-9900

「世界の笑顔のために」
プログラム 物品受付スタート

教育、福祉、スポーツ、文化などの関連物品をJICAボランティアを通じて途上国へ届ける「世界の笑顔のために」プログラムの募集を開始します。対象物品、送付方法などの詳細は、ホームページ（www.jica.go.jp/partner/smile）をご覧ください。

募集期間：4月15日（木）〜5月28日（金）

問：JICA青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラム係

TEL：03-5226-9196